

# やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 平成30年7月 第4号

## 大阪府北部を震源とする地震の発生を受けて！

教頭 吉川 正晃

6月18日(月)午前7時58分、突然、大きな揺れに襲われました。もうすでに登校していた生徒、登校中の生徒、まだ家にいた生徒、そして教職員も出勤していたり、出勤中であつたり、それぞれが違う状況の中で地震が発生しました。幸い大きなけがをした生徒はいませんでした。渡り廊下と校舎の継ぎ目など、施設面で大きなダメージを受けました。また、周りに目を向けると、尊い命が失われたり、ライフラインの復旧まで時間がかかたりと、改めて災害への備えの大切さを実感しました。

今回の地震を受けて、6月29日(金)に不審者対応訓練の予定を変更し、地震の避難訓練を行いました。

まず教室で、地域の方にも参加していただき、地震発生時の行動について振り返りとグループ交流を行いました。「机の下にもぐった」などの意見を交流し、ほかの人の行動から学ぶこともあったと思います。

避難訓練後に生徒に次の2つのことを話しました。

～避難訓練の意味～

何のために避難訓練をするのか。地震に限らず、小学校の時から毎年、避難訓練をしています。その意味を考えてほしいと思います。この前の地震のように、避難訓練と同じ場面で地震が来るとは限りません。家で寝ているときかもしれませんし、学校の休み時間かもしれません。避難訓練には様々な意味があると思いますが、そのうちの1つの意味は、「地震が来るかもしれない」という意識付けだと思います。この前の地震では、無意識で机の下にもぐったり、何かにつかまったりした人もいたのではないのでしょうか。また、どうすることもできず身動きの取れなかった人もいたと思います。

スポーツでも、「こういうプレーがしたい」と思っても、最初からうまくいくわけではなく、意識して練習することで身に付き、自然とできるようになる、といったことがあると思います。避難訓練でも、こういう場面では、こういう行動をとろうと考えながら真剣に取り組むことで、いざ地震が起こった時に身を守ることができるのだと思います。今日の避難訓練は、地震が起こった直後の訓練ということもあり、真剣に取り組んでいる生徒が多かったと思います。「訓練していないことは、災害発生時にもできない」という気持ちで、今後の避難訓練でも真剣に取り組んでほしいと思います。

～自助・共助～

2つ目は、地震が起こった当日の体育館に避難していた生徒の行動です。最初はグラウンドに避難していましたが、雨が降ってきたこともあり、体育館へ移動しました。そこには、地域の方も避難していました。そこで、避難している人が休めるようにマットを運んだりするのを手伝ってくれる生徒がいました。中学生は、まだまだ周りの大人の見守りが必要な場面もたくさんありますが、1人の人として、ほかの人のために何かできることもたくさんあります。自助共助とよく言われますが、地域の人と協力し、地域防災の1人の担い手となってほしいと思います。



## ☆2年生 AED 講習会実施☆

7月12日(木)2年生を対象としたAED講習会がありました。暑い中でしたが、みんな真剣に心肺蘇生法、AEDの使い方などを学びました。



## ☆交通安全教室実施☆

7月17日(火)吹田警察署生活安全課の方を講師としてお招きし、交通安全教室を実施しました。夏季休業中は、部活動の移動等で自転車を使用する機会も増えます。ルールを守り、加害者、被害者にならないよう注意しましょう。また、自転車保険へ加入しているかどうか確認してください。

《このような乗り方は交通違反です》

- ・携帯電話を使用しながら…
- ・大音量で音楽を聴きながら…
- ・傘をさしながら…
- ・無灯火運転
- ・2人乗り
- ・整備不良



## ☆熱中症に注意を☆

毎日、気温が35℃を超え、暑い日が続いています。熱中症対策をしましょう。

こまめに水分、塩分補給をしましょう。

十分な睡眠をとり、体調管理に努めましょう。

体調が悪いときには、無理せず、休息をとりましょう。

しんどくなる  
前に対策を！

## 8・9月の行事について(予定)

8月10日(金) 諸費引き落とし	20日(月) 諸費引き落とし
25日(土) 山田の夏まつり	27日(月) 始業式
28日(火)～30日(木) 短縮授業	31日(金) 実力テスト
9月 2日(月) 教育実習開始(21日まで)	21日(金) 文化総合発表会